

根山麓


 学愛磨
向友錬
【校訓】

 【キャッチフレーズ】
こう学，しゅう中，くり
ーんアップの小宿中
【向学に燃え意欲を持ち集中して物事に
挑みクリーンアップに取り組む小宿中】

夏休みなのでできること

校長 前泊 勝利

いよいよ夏休みです。1学期も安心安全を念頭において教育活動をしてきました。おかげさまで、大きな事件・事故等もなく終了できます。保護者や地域の皆様に御礼申し上げます。

夏休みは夏季休業課題がありますが、学期中にはなかなかできないことを体験してほしいと思います。1日中、自然観察をすとか図書館（室）で本に親しむとかいろいろあります。とはいえ計画を立て、規則正しい生活をするのが大事になります。

また、夏休みは毎日家庭で過ごすことになります。生活習慣の確立、ルールやマナーの訓化などは夏休みなのでできることかもしれません。

○ 基本的な生活習慣の確立を

朝6時に起きる、顔を洗う、朝食をとる、夜10時には寝るなど毎日のリズムカルな生活が学力や健康にもつながります。

○ 善悪の判断を

子どもは初めに家庭の中でしてよいこと、してはいけないことを学びます。間違った行いには何がいけないか理由をきちんと伝え、愛情をもって本気で叱り、逆に良い行いには心からほめる言葉をかけることが大切です。

○ マナーや礼儀作法を

あいさつをする、会釈をするなど他の人と接するときは丁寧な対応が求められます。他人に迷惑をかけない言動が大切です。

○ 家庭のルールを

子どもは家庭での約束事やルールを守ったり破ったりしながら、社会のルールの大切さを学んでいきます。家庭でよく話し合っ一貫性のあるルールをつくり、親子で守っていく中で、子どもたちにルールがなぜ必要なのかを実感させることが大切です。

○ 家事手伝いを

毎日、責任ある家事を分担している子は、自然に集中力も責任感もついてきます。家庭生活を支えていく上で、なくてはならない一員だという誇りも生まれます。家事手伝いは、家族の間のつながりを強め、思いやる心を育てます。人の立場のわかる子にもなっていく、人を大切にする態度につながります。

○ 家庭学習習慣の確立を

勉強するのはよい点をとることだけが目的ではありません。将来、就きたい仕事ややりがいのある仕事をするための力をつけるために、いろんなことに耐えて勉強し、働くことの基礎を築くためでもあります。学校で学習したことは、その日に復習しなければ確かな学力として身に付きにくいものです。そして、家庭で学習する習慣をつけることが大切になります。子どもが自らの未来を見据え、展望をもち、意欲をもつことができるように話をすることが大切です。



夏休みは、生命に関わる事故や様々な危険・誘惑も多く見られます。「自分や他の人の生命に関わること」や「決してしてはいけないこと」などについては、厳しく戒め、自律ある生活が望まれます。夏休みの過ごし方について親子で話し合ってみてください。

県大会に出場する陸上、吹奏楽部、新体操・サッカー（クラブ所属）の活躍を祈っています。

※ 日置洋和様より県総体出場の激励金をいただきました。有り難うございました。

7/21～8/31は「水難事故防止運動強調期間」です
8月は「人権同和問題啓発強調月間」です